

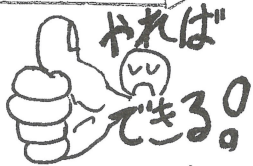
燃え
四中
学校たより

磨きあう



1限目
4月12日(金)

自分を高めるための挑戦をする学校



四月から校長として赴任してきました 荒牧義孝と申します。荒尾には、三中、海陽中と合名せて14年勤務しましたが、四中は初めてです。どうぞよろしくお願いいたします。さて本年度1年生12人、2年生68人、3年生67人の計207人で学校生活がスタートしました。

入学式前の2、3年生だけの始業式では、時間の濃さの話をしました。時間はみな同じように過ぎていくけど、中学校の3年間というのは、とても濃い時間を過ごしている。その証拠に50才過ぎた私でも、40年も前の中学校3年間のことは、ついこの前のことのように思いだせます。でも、今はたった数日前のことすらよく思い出せません。保護者の皆様もそうではありませんか？ それほど濃い時間を過ごしているのだから、無馬気にせず、何事にもチャレンジしてほしい、自分を磨いてほしい旨を伝え、「かりゆし58」の『オワリはじまり』の曲のイントロを聴いてもいいました。(ちょうど、中学生が生まれたころの曲です。知っている生徒も数人いました。) 右にある歌詞のように、かけがえのない、この大切な時間を有効に使ってほしいと思います。

1年生には、入学式の式辞で、まがりをおそれず何にでも挑戦してほしい、という話をして、『しない後悔よりする後悔』をすように伝えました。どんなことでも、おわった後に「あーあ、ちっけはよかった...」と後悔するより

もうすぐ今日が終わる
やり残したことはないかい？
親友と語り合ったかい？
燃えるような恋をしたかい？
一生忘れないような
出来事に出会えたかい？
かけがえのない時間を
胸に刻み込んだかい？

「やて失敗して「んんんよかた」と思えることまくり返す方が、人として大きく成長するからです。私は専門が理科なのですが、以前、生物学でこんなことを聞きました。「子どもはよくケがまする。そしてその分、治る力も強く、早く治る。それは、たくさんケがまして、痛みや危険を経験して強い大人になるためだ。」... だから四中では、たくさんのごことにチャレンジせよ。たくさんのご成功や失敗をくり返し、物くんの経験をたまってあきらめることに対処できる大人にそだてていきたいと思っています。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。〇〇

こんな人に惚(ほ)れなさい!!



学校初日。始業式のあと、校長室掃除にきてくれた。女子生徒がいました。あいさつをしたあと、両手両ひざをついて黙々とそうきんがけを始めました。まずは見えっている所、そして机の下にもぐって机の下をふき、そめがおわったら、ドアをあけしめて、ドアの影になている所をふき、最後に壁と床のへりの所をふく...。本当にスミズミまできれいにしてくれ「すごいなあ...」と思っていた。何やらおきこえている...?人?と思て見たら、ソファの下がよこ木でなにかを見ていた人ですわ! 立派ですわね、他に何かないか、気づこうとする姿勢。私なんておわらうとするこしか考えないのに、その女子生徒に頭が下がる思いでした。そして次の日... 入学式準備で校長室に来てくれた男子生徒... ソファテーブルをどかして床をふいても、たののですが、私が「ズズ〜」と引きずらうこかしているとき、さっと手をかきも上げて床、他のものを動かす時も音つたてないよう、そ〜と丁寧に丁寧にやってくれました。(いやあ〜、すばらしいですわね!) そのさりげなく、普通にやっている姿を見ると、ま、と普段からそんなふうね。こんなたすに仕事をたの人だ、と安心してまかせられる人だと思ひます。こういう人たちに育てほしいと思ひます。こんな、また新しい年書きてミゼン... 学校の様子を、学級通信部、HPでお知らせします。学校たよりは私の思っていることをお伝えします。返信等は右のQRコードでどうぞ!

